
平成30年3月期
第2四半期
決算説明会

平成29年11月20日



極東貿易株式会社

KYOKUTO BOEKI KAISHA, LTD.

TOKYO, JAPAN




目次

□平成30年3月期第2四半期決算概要

□中期経営計画「KBK 2016」成長戦略の進捗状況

□平成30年3月期業績見通し

□配当に関して



平成30年3月期第2四半期決算概要



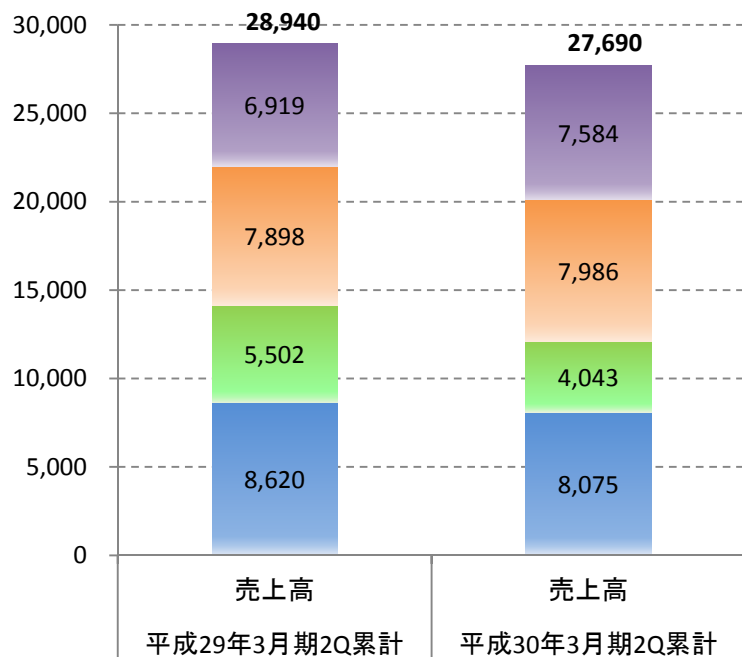
平成30年3月期第2四半期決算概要

連結P/L		(単位:百万円)	
	H29.3月期 2Q累計(4~9月)	H30.3月期 2Q累計(4~9月)	増減金額
売上高	28,940	27,690	▲1,250
売上総利益	3,998	4,006	8
販管費	3,619	3,680	61
営業利益	378	326	▲52
経常利益	600	774	173
親会社株主に帰属 する四半期純利益	399	610	210

- ◆ 売上高 ----- 火力発電所向け計装システム事業の大口案件の納入延期等により売上減
- ◆ 売上総利益 ----- 機械部品関連部門が着実に収益を伸ばしたことなどにより利益増
- ◆ 営業利益 ----- 売上総利益は増加も販管費の増加が見られ利益減
- ◆ 親会社株主に帰属する四半期純利益 ----- 持分法による投資利益の増加に伴う経常利益の増加などにより利益増



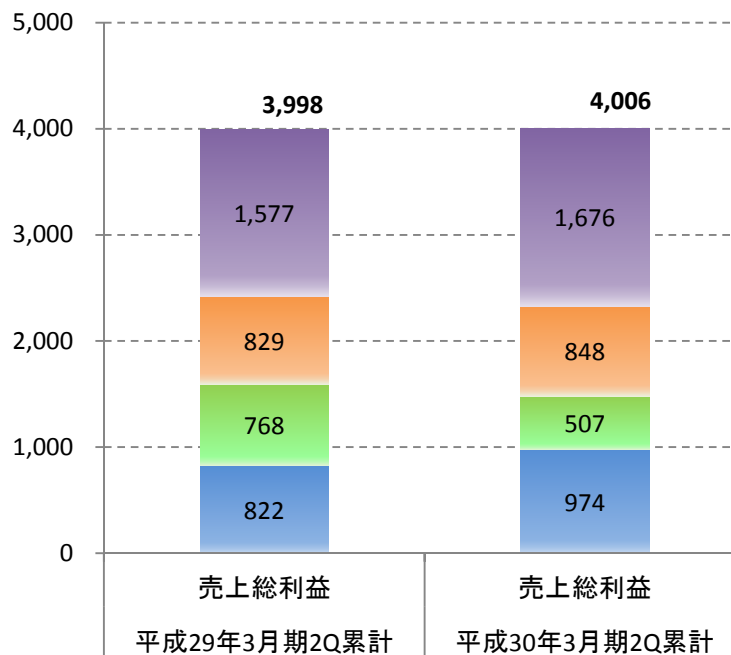
平成30年3月期第2四半期決算概要



(単位: 百万円)

- 機械部品関連
- 産業素材関連
- 電子・制御システム関連
- 基幹産業関連

(単位: 百万円)



- 機械部品関連
- 産業素材関連
- 電子・制御システム関連
- 基幹産業関連



平成30年3月期第2四半期決算概要

事業の種類別セグメント — 基幹産業関連部門

(単位:百万円)

連結	H29.3月期 2Q累計(4~9月)		H30.3月期 2Q累計(4~9月)		増減金額	
	売上高	売上総利益	売上高	売上総利益	売上高	売上総利益
重電設備	6,024	422	4,873	452	▲1,150	30
鉄鋼関連	830	130	856	81	25	▲48
資源開発機器	792	155	1,249	169	456	14
検査装置	948	104	1,054	261	105	156
その他	23	9	41	9	18	0
合計	8,620	822	8,075	974	▲544	152

■ 重電設備

前年度のような大型案件納入がなかったものの設備更新案件で一定の利益が見込め減収増益

■ 鉄鋼関連

海外向け副資材等は堅調なるも海外向け製鉄設備の動きが少なく増収減益

■ 資源開発機器

大口案件は計画通り納入、探査船向け予備品納入も底固く増収増益

■ 検査装置

売上が年度末に集中する傾向の試験機が上期より堅調で増収増益



平成30年3月期第2四半期決算概要

事業の種類別セグメント — 電子・制御システム関連部門

(単位:百万円)

連 結	H29.3月期 2Q累計(4~9月)		H30.3月期 2Q累計(4~9月)		増減金額	
	売上高	売上総利益	売上高	売上総利益	売上高	売上総利益
航空電子	827	233	627	142	▲200	▲91
電子機器	516	142	409	134	▲106	▲7
計装システム	4,157	392	3,006	230	▲1,150	▲162
合 計	5,502	768	4,043	507	▲1,458	▲261

■ 航空電子

前年度のような防衛関連の通信機器の受注がなく、画像関連事業も全体に低調で減収減益

■ 電子機器

前年度のような原発向け地震計の追加受注には恵まれず減収減益

■ 計装システム

火力発電所向けの大口案件納入が3Q以降へ延期となり減収減益



平成30年3月期第2四半期決算概要

事業の種類別セグメント — 産業素材関連部門

(単位:百万円)

連結	H29.3月期 2Q累計(4~9月)		H30.3月期 2Q累計(4~9月)		増減金額	
	売上高	売上総利益	売上高	売上総利益	売上高	売上総利益
樹脂・塗料	6,093	537	6,227	556	134	18
複合材料	1,308	243	1,184	223	▲128	▲19
食品関連	497	48	574	68	77	20
合計	7,898	829	7,986	848	87	19

■ 樹脂・塗料

国内化粧品向けを中心に好調、設備も比較的堅調に推移し
増収増益

■ 複合材料

高水準で推移も前年度のような繊維関連における設備機器の活発な納入は一服で減収減益

■ 食品関連

輸入品のハム・ソーセージ用副資材のシェア一部奪回等で増収増益も回復途上



平成30年3月期第2四半期決算概要

事業の種類別セグメント — 機械部品関連部門

(単位:百万円)

連結	H29.3月期 2Q累計(4~9月)		H30.3月期 2Q累計(4~9月)		増減金額	
	売上高	売上総利益	売上高	売上総利益	売上高	売上総利益
ねじ関連	6,469	1,420	7,066	1,484	597	64
ばね関連	450	157	518	191	68	34
合計	6,919	1,577	7,584	1,676	665	98

■ ねじ関連

エトー株式会社のコア事業で建設機械業界向けや工作機械業界向け、自動車部品業界向けも好調で増収増益

■ ばね関連

サンコースプリング株式会社のコアビジネスである定荷重ばねに加え、ぜんまいや他の製品も概ね好調で増収増益

中期経営計画

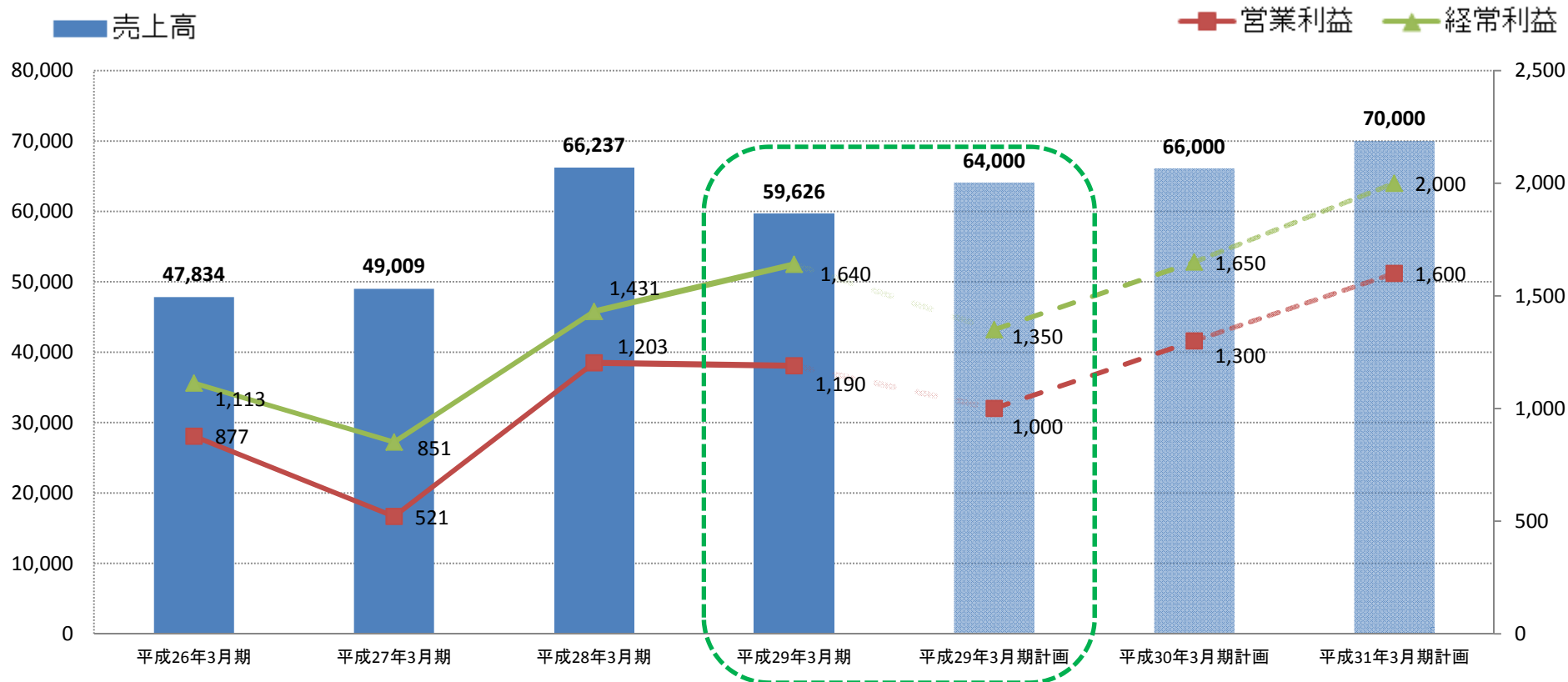
「KBK 2016」成長戦略の進捗状況



「KBK 2016」の経営数値目標

連結業績	平成29年3月期	平成30年3月期	平成31年3月期
売上高	64,000	66,000	70,000
営業利益	1,000	1,300	1,600
経常利益	1,350	1,650	2,000

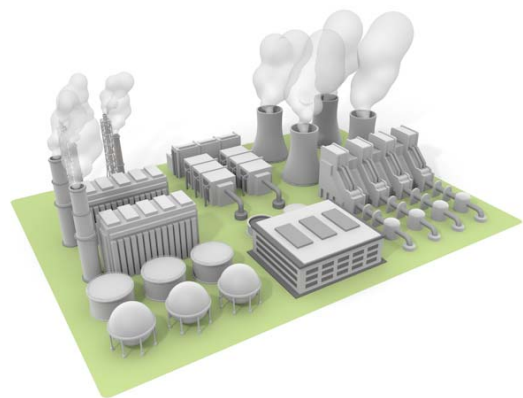
(単位：百万円)





「KBK 2016」成長戦略の進捗状況

既存事業の強化

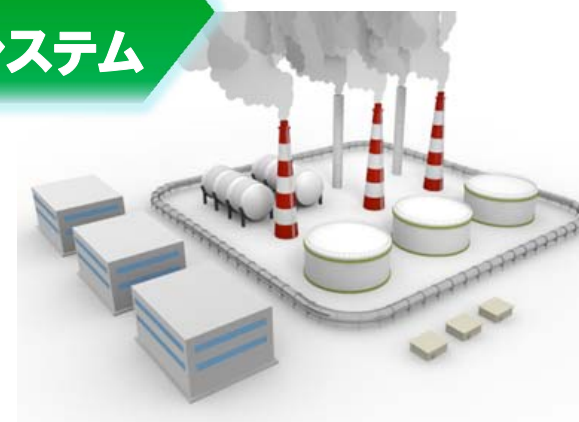


重電
設備

鉄鋼
関連

KBK

計装
システム



長年に亘る納入実績をベースに
更新需要を迎えるプラント・発電所へ
更新設備納入に留まらずIoTの流れの中で
国内外の最新技術・対応製品を
提供していく



「KBK 2016」成長戦略の進捗状況

新事業の推進と投資機会の強化

新事業の推進



耐火・耐炎繊維

断熱・吸音用内装材

防護服・消防服

航空機ブレーキパッド

偵察・監視

自然災害調査

野生動物生態調査



長距離レーザー測距器

投資機会の強化

国内外の案件を引き続き検討中
今後も投資機会の強化を継続



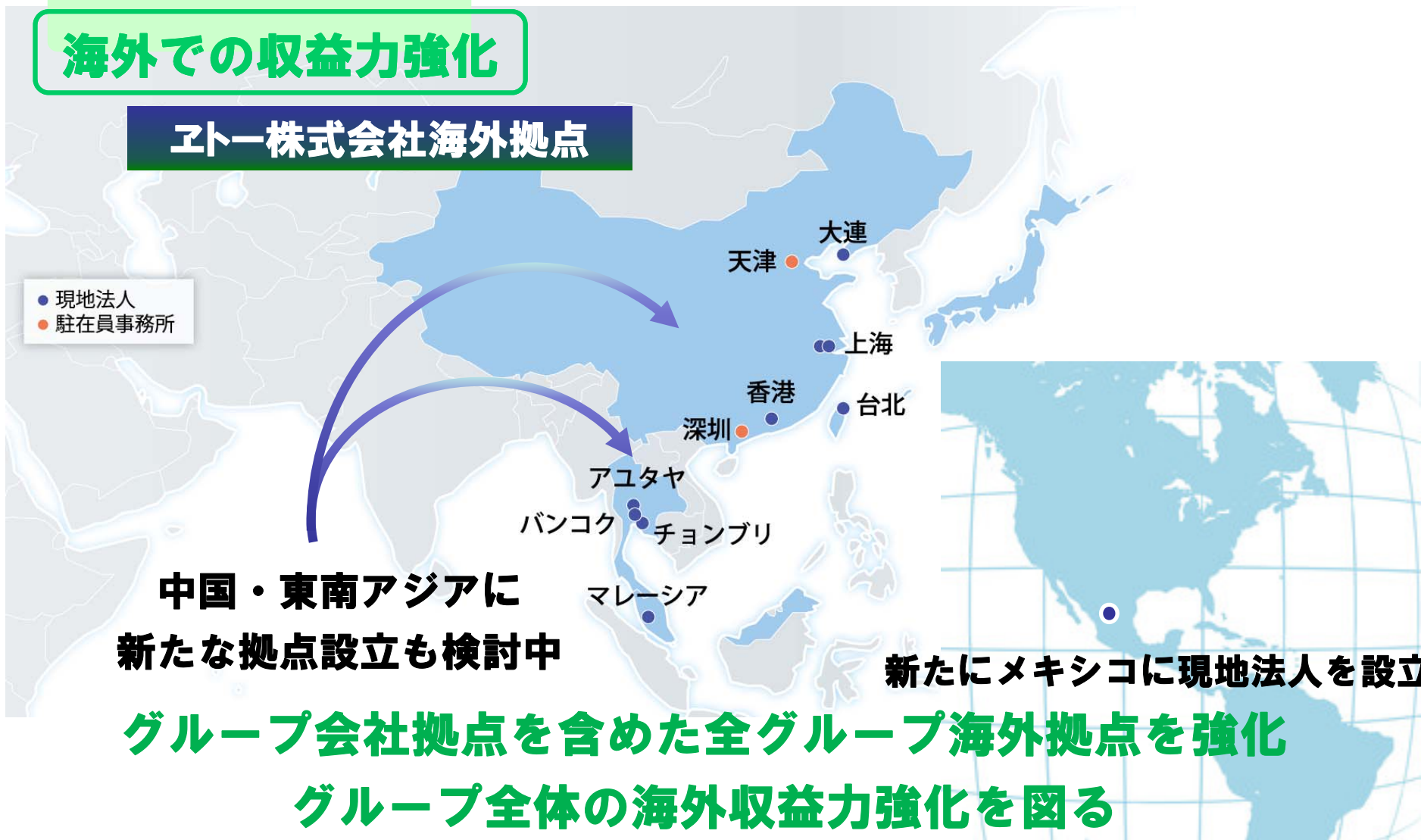


「KBK 2016」成長戦略の進捗状況

海外での収益力強化

エト株式会社海外拠点

- 現地法人
- 駐在員事務所





「KBK 2016」成長戦略の進捗状況

グループ経営の強化

 サンコースプリング株式会社

優れた製品特性



 ETO エトー株式会社

豊富な顧客情報

両社の協力により住宅設備メーカー新製品への
サンコースプリング社ばね製品の採用が決定



 サンコースプリング株式会社

「ものづくり」2社では、グループ経営強化方針に則り
積極的な研究開発投資を実施
新製品開発に拍車



平成30年3月期業績見通し



平成30年3月期業績見通し

(単位:百万円)

平成30年3月期 連結業績予想				
連結	H29年3月期 実績	H30年3月期 計画	H30年3月期 2Q実績	H30年3月期 通期着地見込
売上高	59,626	66,000	27,690	65,000
売上総利益	8,480	8,800	4,006	8,750
営業利益	1,190	1,300	326	1,300
経常利益	1,640	1,650	774	1,700
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,055	-	610	1,150

**計画2年目は利益に関しては
ほぼ計画通りに推移する見込み**



平成30年3月期業績見通し（事業セグメント別）

平成30年3月期事業セグメント別 業績見通し

■ 基幹産業関連部門

（単位：百万円）

連結	平成29年3月期 通期実績		平成30年3月期 「KBK 2016」計画値		平成30年3月期 通期見通し	
	売上高	売上総利益	売上高	売上総利益	売上高	売上総利益
重電設備	12,498	891	13,000	1,020	15,000	1,000
	延期となっていた大口の設備案件が納入される予定などもあり前年度から増収増益、計画比では増収の見込み					
鉄鋼関連	1,581	209	2,150	190	1,900	200
	設備更新需要が継続的に活発で国内設備の納入が堅調に推移する予定で前年度比では増収、計画比では減収増益の見込み					
資源開発機器	1,780	343	3,200	400	2,300	360
	長引く油価低迷の環境の中、前年度に続き躍り場的な状況であるものの、回復傾向が見られ前年度比で増収増益の見込みだが、回復基調は計画に比して緩やかなため計画比においては減収減益の見込み					
検査装置	2,651	401	2,500	420	2,000	460
	採算重視による受注選別を進めた結果、受注件数で伸び悩みを見せる中、原価管理の徹底等により前年度比、計画比ともに減収増益の見込み					
その他	67	26	30	20	70	30
合計	18,579	1,872	20,880	2,050	21,270	2,050



平成30年3月期業績見通し（事業セグメント別）

平成30年3月期事業セグメント別 業績見通し

■ 電子・制御システム関連部門

（単位：百万円）

連 結	平成29年3月期 通期実績		平成30年3月期 「KBK 2016」計画値		平成30年3月期 通期見通し	
	売上高	売上総利益	売上高	売上総利益	売上高	売上総利益
航空電子	1,838	504	3,200	530	3,800	450
	前年度納入延期となっていたバイオマス発電設備機器納入や自動車用軽量ケーブルの予備量産受注が開始予定だが画像関連が一部伸び悩みで前年度比、計画比ともに増収減益					
電子機器	1,143	353	1,500	350	1,100	320
	高収益商材で一部伸び悩みが予想され前年度比、計画比ともに減収減益の見込み					
計装システム	7,321	678	6,500	530	7,100	530
	着実な受注は見込めるものの一定の利益が見込める部品納入が伸び悩むことが予想され計画比では増収の見込みも前年度比においては減収減益					
合 計	10,303	1,536	11,200	1,410	12,000	1,300



平成30年3月期業績見通し（事業セグメント別）

平成30年3月期事業セグメント別 業績見通し

■ 産業素材関連部門

（単位：百万円）

連結	平成29年3月期 通期実績		平成30年3月期 「KBK 2016」計画値		平成30年3月期 通期見通し	
	売上高	売上総利益	売上高	売上総利益	売上高	売上総利益
樹脂・塗料	12,742	1,249	14,770	1,250	12,900	1,200
	国内・中国向け樹脂・塗料は比較的堅調も米国自動車部品メーカー向けが伸び悩むことが予想され、前年度比では増収減益の見込みで計画比では減収減益の見込み					
複合材料	2,703	524	2,750	410	2,400	430
	引き続き高水準も前年度のような繊維設備の更新需要はピークを過ぎ前年度比では減収減益の見込みで計画比では減収増益の見込み					
食品関連	993	89	1,950	310	1,330	170
	ハム・ソーセージ用輸入副資材に復調の兆しが見られる中、輸入設備の更新・工事需要も見込まれるが、計画までには至らず、前年度比では増収増益も計画比では減収減益					
合計	16,439	1,863	19,470	1,970	16,630	1,800



平成30年3月期業績見通し（事業セグメント別）

平成30年3月期事業セグメント別 業績見通し

■ 機械部品関連部門

（単位：百万円）

連 結	平成29年年3月期 通期実績		平成30年3月期 「KBK 2016」計画値		平成30年3月期 通期見通し	
	売上高	売上総利益	売上高	売上総利益	売上高	売上総利益
ねじ関連	13,299	2,843	13,400	2,950	14,000	3,150
	建設機械業界向け、工作機械業界向け、自動車部品業界向けも好調が維持されることが予想され前年度比、計画比ともに増収増益の見込み					
ばね関連	1,005	364	1,050	420	1,100	450
	各コア製品の生産効率を高め利益率の向上が見込まれるほか、適時開発中の新製品が市場に投入される予定で前年度比、計画比ともに増収増益の見込み					
合 計	14,304	3,208	14,450	3,370	15,100	3,600



平成30年3月期業績見通し

事業の種類別セグメント — 部門別見通し総括

(単位:百万円)

連 結	H29.3月期 通期実績		H30.3月期 計画値		H30.3月期 通期見通し	
	売上高	売上総利益	売上高	売上総利益	売上高	売上総利益
基幹産業関連部門	18,579	1,872	20,880	2,050	21,270	2,050
電子・制御システム関連部門	10,303	1,536	11,200	1,410	12,000	1,300
産業素材関連部門	16,439	1,863	19,470	1,970	16,630	1,800
機械部品関連部門	14,304	3,208	14,450	3,370	15,100	3,600
合 計	59,626	8,480	66,000	8,800	65,000	8,750



配当に関して

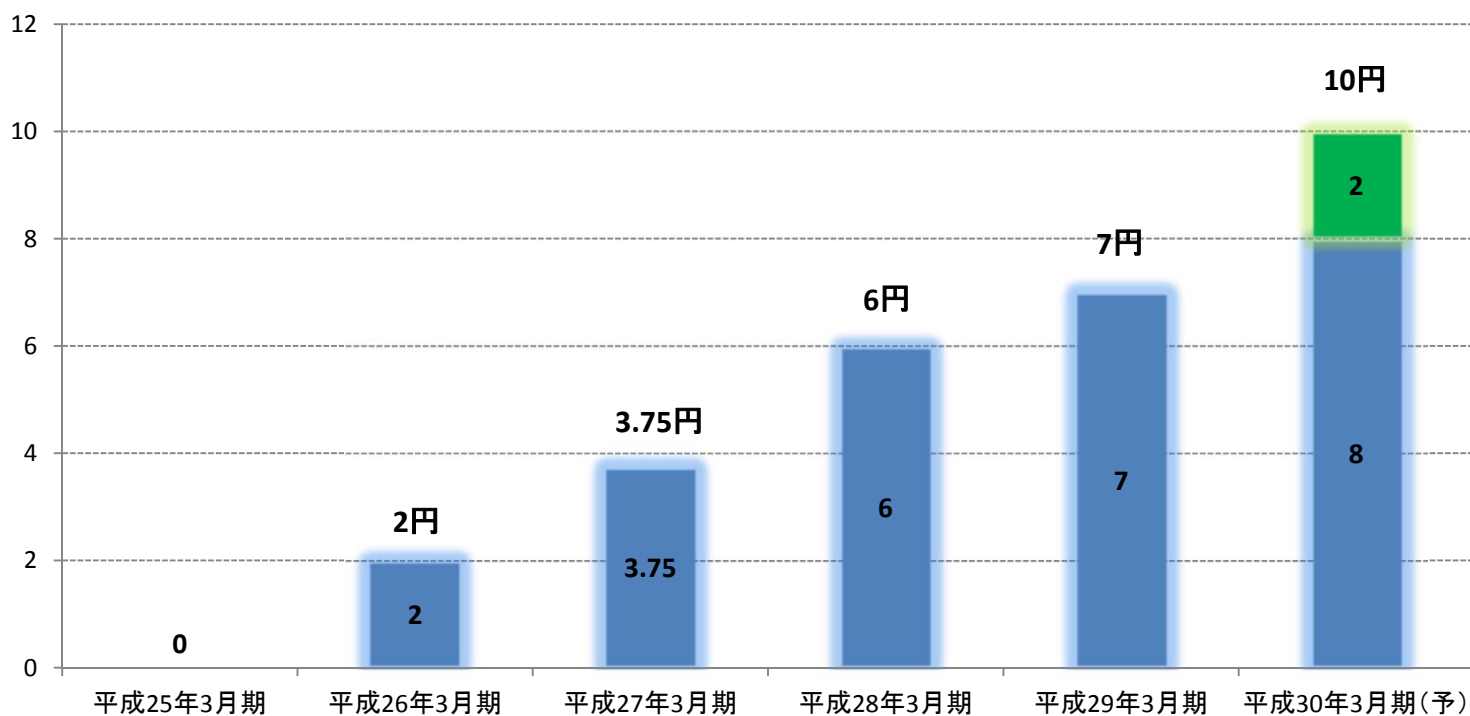
【 配当の見通し 】

平成30年3月期 【年間】 8円(予定)

創業70周年
記念配当

2円(予定)

年間配当金



ご清聴ありがとうございました。



見通しに関する注意事項

この決算説明資料に記載されている売上高及び利益等の計画金額は、いずれも、当社及び当社グループ会社の事業に関連する業界の動向についての見通しを含む国内及び諸外国の経済状況、並びに各種通貨間の為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因についての現時点での入手可能な情報をもとにした見通しを前提としています。

これらは、市況、競合状況、新規取扱商品の導入及びその成否等、多くの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の売上高及び利益等は、この資料に記載されている計画とは大きく異なる場合があります。